



地域特別貢献賞

岡本明子

表彰理由:

名古屋市の「なごや環境大学」講座で「環境カウンセラーと行く」と題して、様々なテーマによる見学・勉強会を企画・運営したほか、教育委員会と連携して環境教育の推進に寄与している。

また、NHK 教育テレビの環境番組に回答者として出演するなど環境保全活動の普及啓発に努力した。

1. 自己紹介

静岡県浜松市出身。野山で遊ぶ自然児として成長。結婚に伴い名古屋市東山動物園近くに住み、現在に至る。

1980 年中ごろから、ウミガメの保護活動に関わる。子の成長とともに、子ども対象の自然と遊ぶ会などを主催した。

2000 年ごろから、動物園内での環境教育を考案、実施してきた。環境への関心が薄い人にも、環境を考える機会としたかったからだ。

2. 環境カウンセラーとしての活動

以前から行っていた出前授業や講演会講師に加え、環境カウンセラー登録後は、ブース出展など、機会を見つけては多くの人に環境の大切さを伝えてきた。

環境に関心のある一般人としての意見を伝えたく、農林水産省食料・農業・農村政策審議会や食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会、愛知県環境審議会、名古屋市社会教育委員なども務めてきた。

3. 活動紹介1:見学会型環境講座の企画運営

名古屋市が 2005 年に開校した『なごや環境大学』で、『環境カウンセラーと行く』シリーズを、毎年企画運営している。半年ごとにテーマを決め、見学+講義の講座を企画、ほぼ毎月開催している。

2008 年からほぼ毎年開講している『セントレアまるごとウォッチング』では、中部国際空港（セントレア）に隠れた環境配慮や安全確保の仕組み、検疫などの水際対策を学び、施設をめぐる。普通では入れない制限区域の見学も多い。長寿講座にもかかわらず、現在も参加者が集まる。

当時、見学会型講座は珍しく、生涯学習センターや学校から、企画や講師の依頼が来たりもした。2005 年の愛知万博では、秋篠宮家の眞子様、佳子様のご案内を 1 時間ほど務める機会もあった。

4. 活動紹介2:教育委員会との連携

2005 年の環境万博を受け、2006 年、名古屋市教育委員会では、小中学生を対象にした環境未来探検隊を結成、私は環境指導員として招かれた。

2006~2009 年度は、学習会や 3 泊 4 日の研修旅行などを実施、講師や見学先のアレンジなど行った。冬休みには、政令市の子どもたちを招き環境こども会議を開催した。初年度の特別ゲストは宇宙飛行士の毛利氏、ゴリラ研究の山極氏だった。

2010 年度は、名古屋市教育委員会に愛知県教育委員会や環境局が加わって、『国際子ども環境会議』に向け準備、国内外の子ども達と提言をまとめ、COP10（生物多様性会議）閣僚級会合開会式で発表させた。

2011 年度以後も規模は縮小されて開催、体験先のアレンジなどに関わった。

5. 活動紹介3:メディアでの普及啓発

2008 年度、小学生高学年向け環境番組 NHK 教育テレビの『ど〜する地球のあした』で食担当の回答者を務めた。翌年、NHK 名古屋放送局内でブース出展した様子、植物防疫所での見学の様子などを、環境カウンセラーの活動事例として 7 分ほど番組内で紹介された。

主催している見学会で取材を受け放映、キッズステーション主催の食育イベントに出演・放映されるなどの、機会もいただいている。

2012 年から所属する日本科学技術ジャーナリスト会議では、文章だけでなく映像にも挑戦、公開されている。

6. 今後に向けて

暮らしの中に隠れた環境を伝えたい、専門家と普通の人との架け橋になりたい。そんな思いを胸に、活動を続けている。